

令和8年度 共生を考える集い

困った行動は、
困っているサイン

—学校・家庭・地域をつなぐポジティブ行動支援—

11月19日(木)
14:30 - 16:20
受付 14:00 - 14:30

会場 京田辺市立社会福祉センター
3階 第1研修室
〒610-0332 京田辺市興戸犬伏5-8

定員 100名

参加費 無料

お申し込み

URL <https://logoform.jp/form/N5DB/1712256>

10月23日(金)～11月12日(木)

専用フォーム(2次元コード又はURL)・FAX・窓口で住所・氏名・電話番号・FAX番号を書いて申し込んでください。

京田辺市教育委員会事務局

こども・学校サポート室(市役所3階)

TEL 0774-64-1325

FAX 0774-64-1390

※手話通訳・要約筆記、託児(先着5名まで・未就学児に限る)を希望する方は手配の都合上11月6日(金)まで



講師 大久保 賢一 氏

畿央大学 教育学部

現代教育学科 教授

研究テーマ

特別支援教育

知的障害・発達障害支援

ポジティブ行動支援

応用行動分析学

教員研修プログラムの開発

「うちの子、また困った行動を…」

そんなとき、その行動は子どもからの「困っています」というサインかもしれません。

本講演では、昨年度もご紹介したポジティブ行動支援(PBS)の考え方を、家庭や地域の場面にどう活かせるかを具体的にお伝えします。

「環境を整える・教える・褒める」を家庭版にアレンジする方法や、「叱らない子育て=甘やかし」ではないという誤解の解消についても触れながら、子どもの行動を「その子なりのメッセージ」として捉える視点をご紹介します。

前回ご参加の方はもちろん、初めての方にも分かりやすい内容です。学校・家庭・地域が同じまなざしで子どもを支えるヒントを、ぜひ一緒に見つけましょう。

主催 京田辺市教育委員会・京田辺市就学相談委員会
協賛 京田辺市地域自立支援協議会